



フランス大使からのメッセージ

2010年秋に、ユネスコ無形文化遺産に認定されました“フランスの美食術”。これはフランス料理のおいしさに対して与えられたものではなく、フランス人が生活の中で最も大切な時間として食事をするという習慣が認められたものです。親しい人とテーブルを囲んで料理を分かち合い、楽しい会話を交わしながら過ごすひととき。和やかな雰囲気の中、美しいテーブルアートなども加われば、それは至福のときであり、美食とは美味だけでは成り立たないものであることを実感します。

フランスでは文化のひとつである美食を通して、人と人との深いところで通じ合い、親しさを増しているのです。

昨秋、ダイナースクラブ（シティカードジャパン株式会社）を特別協賛に迎えて日本で初めて開催された「ダイナースクラブ フランス レストランウィーク」は大成功を収め、堅くかしまったイメージのフランス料理に、意外な楽しさを発見された方も多いと聞いています。さらに今年は小さな子どもと一緒にレストランに出かける機会がつくられるということで、上述のような本来の“美食文化”を感じていただけるものと期待しております。

「ダイナースクラブ フランス レストランウィーク」の発祥でもあるフランスの「Tous au Restaurant（皆でレストランに行こう）」では、昨年東北被災者のためのチャリティー・ディナーを開催しました。フランスは今も何千人もの方が困難な状況にあることを思い、被災者の皆様に心を寄せています。

今年の「ダイナースクラブ フランス レストランウィーク」では、再びシェフたちが釜石市や石巻市を訪問し、温かい料理とハートでその地の方々をもてなします。フランス料理が皆様の心を結ぶ、ひとつの絆となることを願ってやみません。

ボナペティ！

駐日フランス大使
クリスチャン・マセ

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'C. Mace', with a checkmark-like flourish at the end.